

白山地域に生息する翼手類について

佐野 明 金沢大学理学部生物学教室
上馬 康生 石川県白山自然保護センター

NOTES ON BATS IN THE HAKUSAN REGION

Akira SANO, *Department of Biology, Faculty of Science, Kanazawa University, Kanazawa*
Yasuo UEUMA, *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*

はじめに

白山及びその周辺部に生息するコウモリ類については、これまで、北国新聞社編「白山」(1962)、沢田(1976)、水野(1978)により、3属4種が報告されている。しかし、森林棲コウモリについては、ほとんど調査報告がないといってよいであろう。筆者らは1979~1980年の夏期、10数回にわたり、主に森林棲コウモリの採集を目的とした調査をおこなった。また同時に、情報の収集もおこない、若干の知見を得ることができたので、ここに合わせて報告をする。

本稿を草するに当たり、調査のきっかけを作っていただき、いろいろと御指導下さった岩手県在住の遠藤公男氏はじめ、貴重な標本や情報を提供して下さい、吉野谷中学校教諭真野哲三氏、白山自然保護センター野崎英吉氏、また調査に御協力いただいた金沢大学理学部生物学科生態研究室の方々に、厚くお礼申し上げます。

調査地域と方法

調査地域は図1に示すとおり、白山の石川県側の手取川の支流である瀬波川、尾添川及び牛首川に沿った、標高300~1000mの山地帯である。植生は低地ではコナラ、ミズナラ林とスギ植林地であり、高地はブナ林である。

調査方法については、聞き込みによる情報収集のほか、森林内では、樹間にカスミ網を張り、隧道・コンクリート通路については、直接中に入って、種の確認、または捕獲をおこなった。

結 果

調査により、下記の通り森林棲・洞窟棲をあわせて4属7種が確認され、これまでに白山地域で確認されたコウモリ類は、計6属9種となった。なお、採集した個体の外部計測値は、表1に示したとおりである。

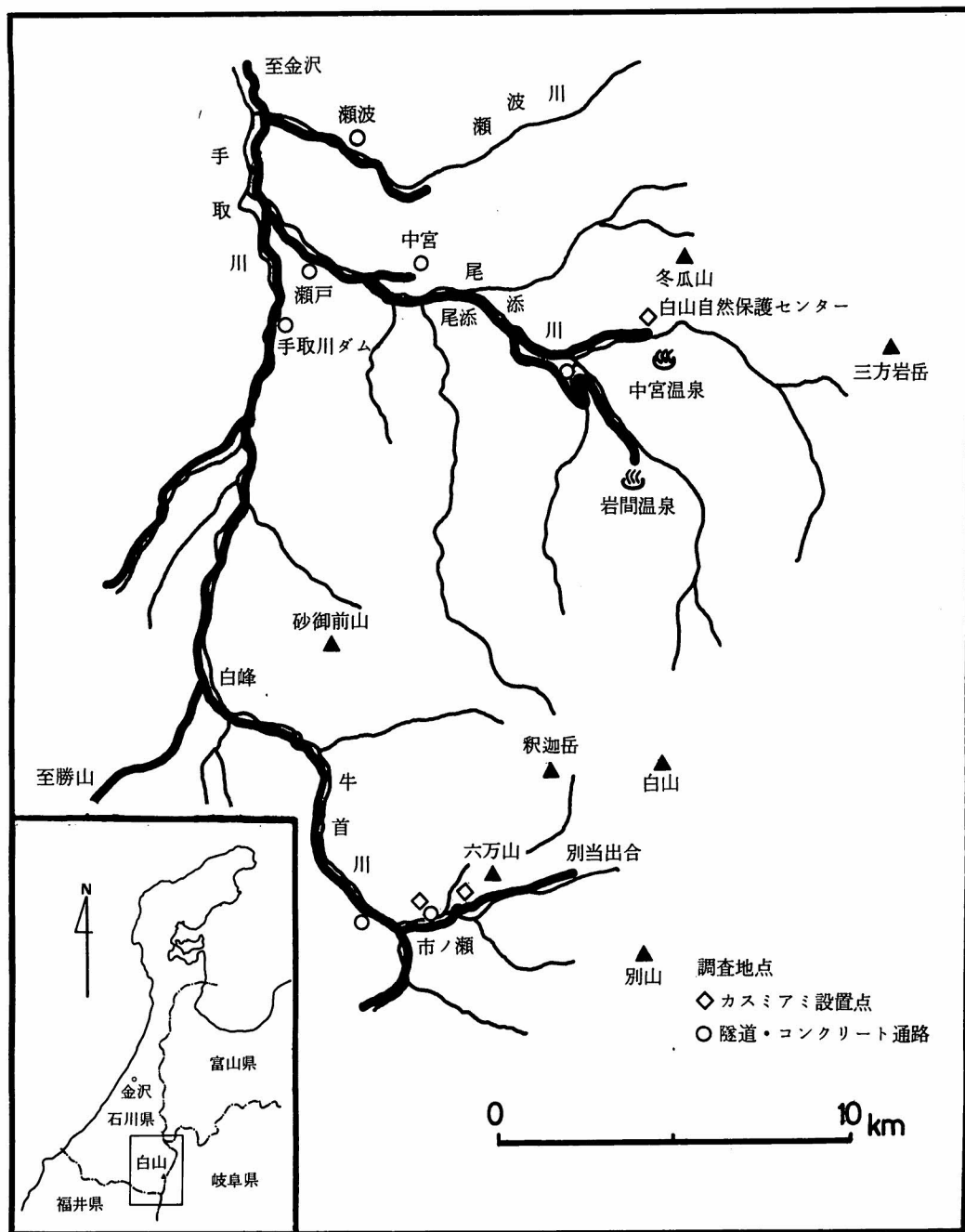


図1 調査地域概況

佐野・上馬：白山地域に生息する翼手類

表1 採集個体外部計測値

	HB	T	FA	HFcu	Tibia	E	Trugus	
<i>Myotis hosonoi</i> シナノホオヒゲコウモリ	39.4	33.2	32.1	6.8	14.0	12.2	5.4	30-VIII-1979, ♂
	45.0	36.0	34.0	9.0	15.8	12.6	6.3	4-IX-1980, ♂
	40.1	33.8	32.1	8.0	13.4	12.6	5.9	9-IX-1980, ♂
<i>Myotis frater</i> カグヤコウモリ	45.9	47.4	38.6	9.1	20.0	13.5	7.8	30-VIII-1979, ♂
	46.7	45.0	39.3	8.6	19.5	13.4	7.1	30-VIII-1979, ♂
	44.2	46.3	37.8	8.7	19.7	13.8	6.9	30-VIII-1979, ♂
<i>Plecotus auritus</i> ウサギコウモリ	46.0 (SV)	37.0	42.0	11.0	22.0	37.0	17.0	26-V -1979, ♂
<i>Murina leucogaster</i> テングコウモリ	55.6	40.4	43.6	12.5	18.8	18.0	8.2	3-VIII-1979, ♂
	58.9	40.4	46.1	12.0	20.2	17.7	10.0	21-V -1980, ♀
	61.0	44.0	40.6	13.0	20.1	17.0	10.6	4-IX-1980, ♂

HB 頭胴長, T 尾長, FA 前腕長, HFcu 後足長(爪とも), Tibia 脛長,
E 耳介長, Trugus 耳珠長, SV 鼻頭~生殖器長

キクガシラコウモリ科 RHINOLOPHIDAE

1. キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum* SCHREBER

- i) 石川郡白峰村市ノ瀬 登山センター公衆便所及び高床下
13-VII-1979, 10 頭; 24-VIII-1979, 3 頭; 2-IX-1980, 2 頭; 4-IX-1980, 3 頭; 9-IX-1980, 2 頭
- ii) 石川郡白峰村根倉谷 北陸電力変電所内 コンクリート通路
14-VII-1979, 1 頭
- iii) 石川郡尾口村尾添 三ツ又発電所内 積雪期用隧道
26-V-1979, 1 頭♀; 16-VI-1979, 約 20 頭; 3-VIII-1979, 約 50 頭; 21-XII-1979, 2 頭
; 21-V-1980, 2 頭♀; 29-VIII-1980, 10 頭; 9-IX-1980, 約 40 頭
このうち, 3-VIII-1979, 29-VIII-1980 には出産哺育コロニーを確認した。
- iv) 石川郡吉野谷村瀬波 コンクリート通路
13-VII-1980, 1 頭 ♀*¹⁾ (真野)²⁾
- v) 石川郡尾口村瀬戸
期日不詳 (真野)

2. コキクガシラコウモリ *Rhinolophus cornutus* TEMMINCK

石川郡吉野谷村中宮 白山自然保護センター付近
29-IX-1980, 1 頭♂* (野崎)

ヒナコウモリ科 VESPERTILIONIDAE

3. モモジロコウモリ *Myotis macrodactylus* TEMMINCK

石川郡尾口村尾添 三ツ又発電所内 積雪期用隧道
20-V-1980, 1 頭♂

註1) *は採集個体, 他は視察による

註2) ()は資料提供者を示す

4. シナノホオヒゲコウモリ *Myotis hosonoi* IMAIZUMI

石川県白峰村 六万山ブナ林

24—Ⅷ—1979, 1 頭♂*; 4—Ⅸ—1980, 1 頭♂*; 9—Ⅸ—1980, 1 頭♂*

5. カグヤコウモリ *Myotis frater* G. M. ALLEN

石川県白峰村市ノ瀬 登山センター付近

30—Ⅷ—1979, 3 頭♂*

6. ウサギコウモリ *Plecotus auritus* LINNAEUS

石川県尾口村尾添 三ツ又発電所内 積雪期用隧道

26—Ⅴ—1979, 1 頭♂*

7. テングコウモリ *Murina leucogaster* MILNE-EDWARDS

i) 石川県吉野谷村中宮 白山自然保護センター付近 ミズナラ林

4—Ⅷ—1979, 1 頭♂*

ii) 石川県尾口村 手取川ダム船庫内

21—Ⅴ—1980, 1 頭♀*

iii) 石川県白峰村 六万山ブナ林

4—Ⅸ—1980, 1 頭♂*

iv) 石川県吉野谷村瀬波 コンクリート通路

13—Ⅶ—1980, 1 頭♂* (真野)

v) 石川県尾口村仏師ヶ野

期日不詳 (真野)

[追補] 上記のほか、今回は確認できなかったが、次の2種が過去に記録報告されている。

8. ユビナガコウモリ *Miniopterus schreibersi* KUHL

沢田 (1976) による。

9. ヤマコウモリ *Nyctalus lasiopterus* SCHREBER

北国新聞社編「白山」(1962)による。本種についてはくわしい採集記録、あるいは標本は残されておらず、やや疑わしい点もある。

キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、モモジロコウモリの3種は、全国の洞窟・廃坑のほか、古家屋・石垣にも広く生息する普通種である。中でもキクガシラコウモリは白山地域においても、今回その繁殖地が確認され、山麓部のあまり人の利用しない隧道、コンクリート通路などを中心に、かなり広く分布するものと思われる。

シナノホオヒゲコウモリは、本州(岩手、長野、埼玉、山梨、三重等)の山地の森林から知られる。今回は3個体が、いずれもブナ林において、カスミ網で捕獲された。なお、このうち2個体は、頭胴長及び前腕長が短い(表1)、耳珠の形態、踵骨後葉、尾骨の尾膜からの突出、頭骨の顔面率から本種であると同定した。

カグヤコウモリも、山地の森林に生息する種で、本邦では、北海道・本州中部以北(青森、岩手、長野、山梨、埼玉)から報告がある。今回の調査では、いずれも登山センターの水銀灯に集まる昆虫

類を、捕食するために飛来したところをカスミ網で捕獲した。これ以外にも同場所で、本種と思われる個体を目撃しており、この水銀灯付近が採餌場となっていたようである。

ウサギコウモリ、テングコウモリは、ともに山地の樹洞・洞窟・廃坑に生息し、前者は主に北海道、本州中部以北、後者は本州と九州から知られる。特にテングコウモリについては、白山地域でも採集例が多く、森林や建造物内に比較的広く分布するものと思われる。

なお今回の調査では、アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* TEMMINCK は、山間部の集落での生息が予想されながら、確認するに至らなかった。

今後は、調査地点・期間を拡げて調査を継続してゆくことにより、白山地域の翼手類相を明らかにしていく予定である。

参 考 文 献

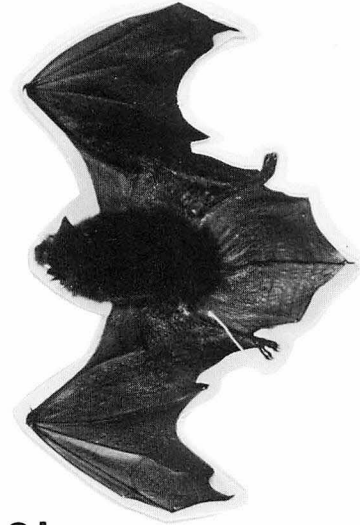
- 花井正光 (1979) 手取ダム周辺の哺乳類分布現況. 石川県白山自然保護センター研究報告第5集, 87—96, 石川県
北国新聞社編 (1962) 白山. 北国新聞社
今泉古典 (1960) 原色日本哺乳類図鑑. 保育社
——— (1970) 日本哺乳動物図説, 上巻. 新思潮社
水野昭憲 (1978) 植物と動物. 石川県尾口村史第1巻 (資料編1), 59—92, 尾口村
森下正明・村上興正 (1970) 白山における中小哺乳類について. 白山の自然, 330—334, 石川県
沢田 勇 (1976) 糸虫相からみた日本産キクガシラコウモリ科コウモリの分布に関する2, 3の知見. 動物学雑誌 85,
140—155
吉行端子 (1980) 尾瀬の森林棲翼手類について. 哺乳動物学雑誌 8, 88—96

Summary

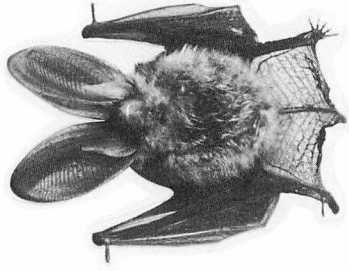
Bats were collected in the mountain district at altitudes of 300 to 1000 meters in the Hakusan region from 1979 to 1980. Seven species belonging to four genera were identified. Among them five species, *Myotis macrodactylus* TEMMINCK, *Myotis hosonoi* IMAIZUMI, *Myotis frater* G. M. ALLEN, *Plecotus auritus* LINNAEUS and *Murina leucogaster* MILNE-EDWARDS, from this region were newly recorded.

図 版

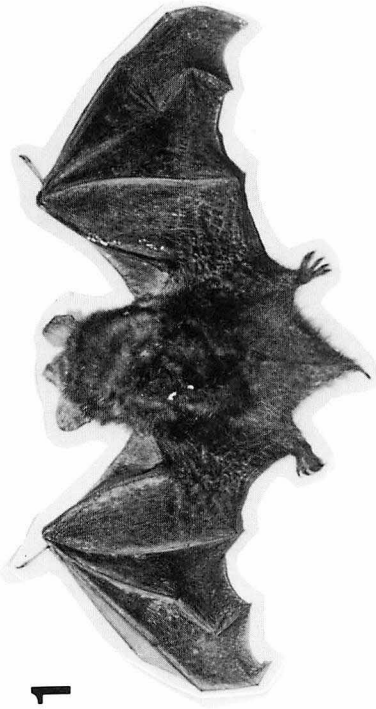
- 1 *Murina leucogaster* テングコウモリ
吉野谷村中宮産 (4—Ⅷ—1979)
- 2 *Myotis frater* カグヤコウモリ
白峰村市ノ瀬産 (30—Ⅷ—1979)
- 3 *Myotis hosonoi* シナノホオヒゲコウモリ
白峰村六万山産 (24—Ⅷ—1979)
- 4 *Plecotus auritus* ウサギコウモリ
尾口村三ツ又産 (26—Ⅴ—1979)



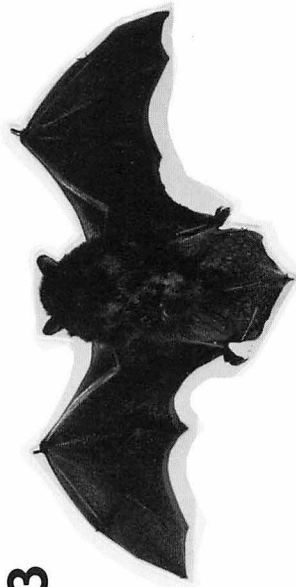
2



4



1



3

